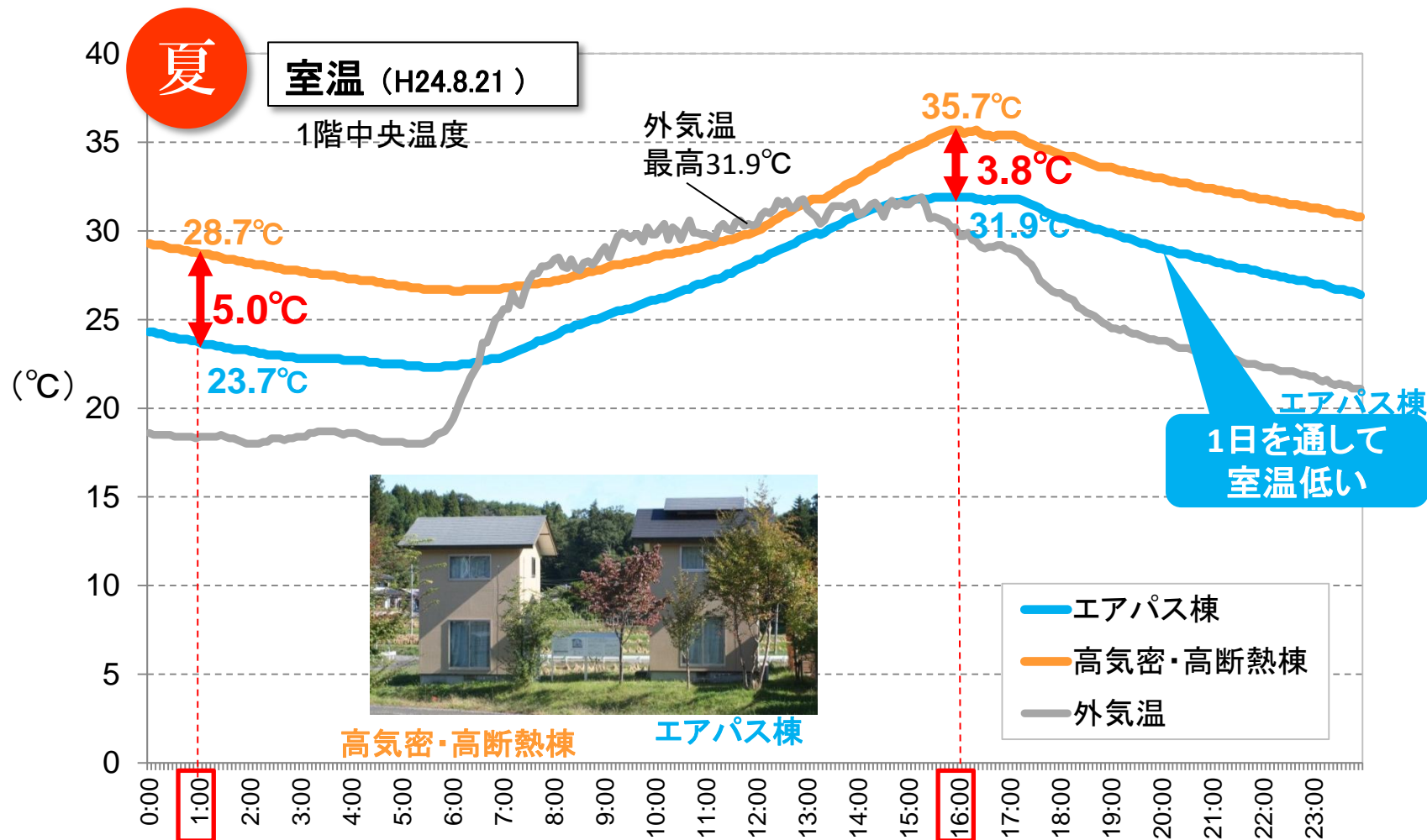


実験棟を改修して最新データを取得

～高気密・高断熱棟を最新の省エネ基準に適合させる断熱改修を実施～

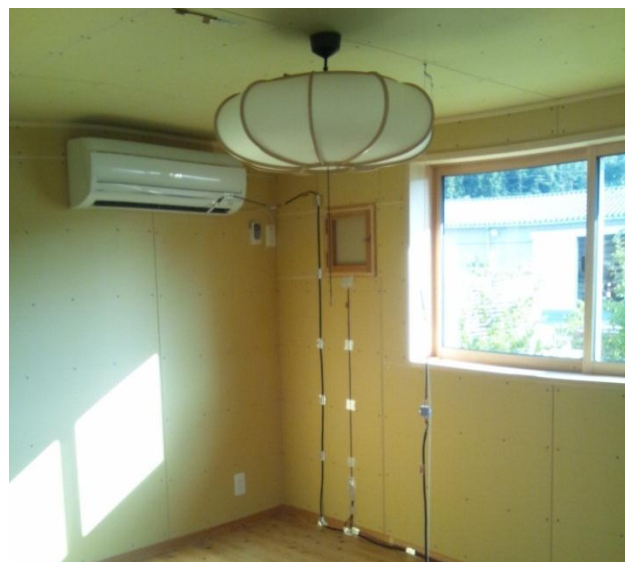
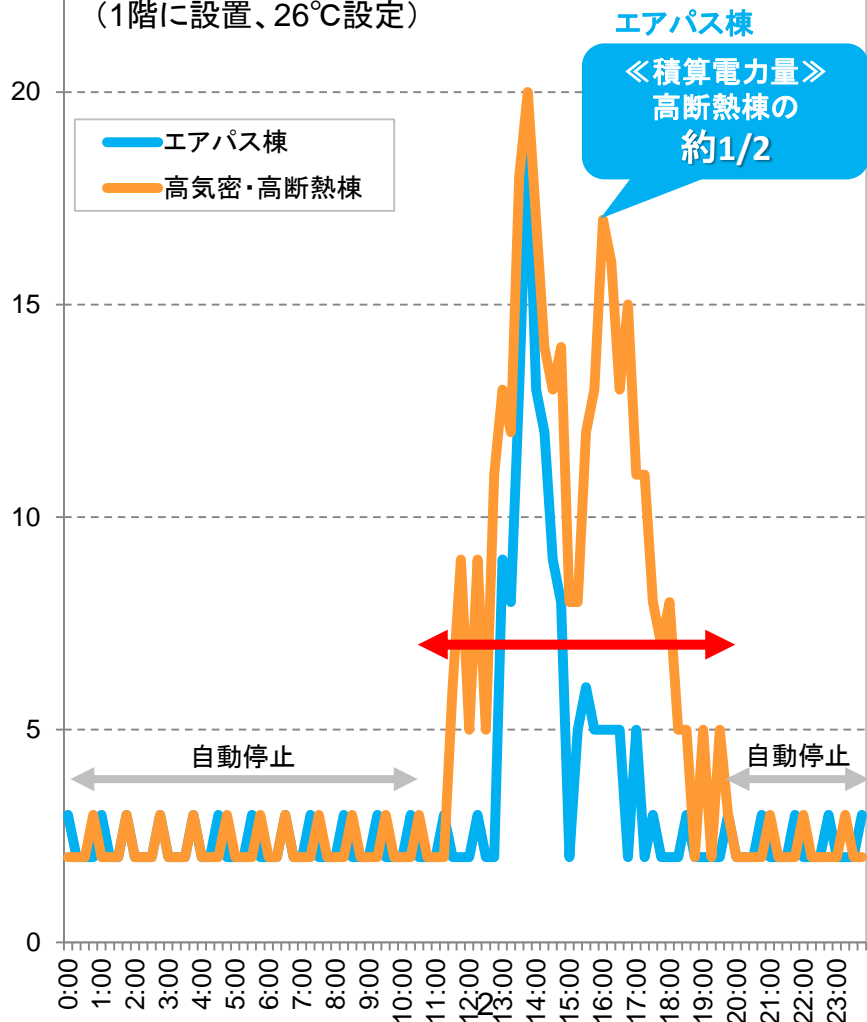


- エアパス棟は高断熱棟より一日を通して室温は低いが、夜間にその差はより大きくなる。
(エアパスの家は夏の夜過ごしやすい)
- 日中の室温のピークは、外気温のピークより3～4時間程遅れて現れ、ピークの室温は、ピークの外気温に比べて、高断熱棟で+4°Cなのに対し、エアパス棟は同程度までしか上がっていない。

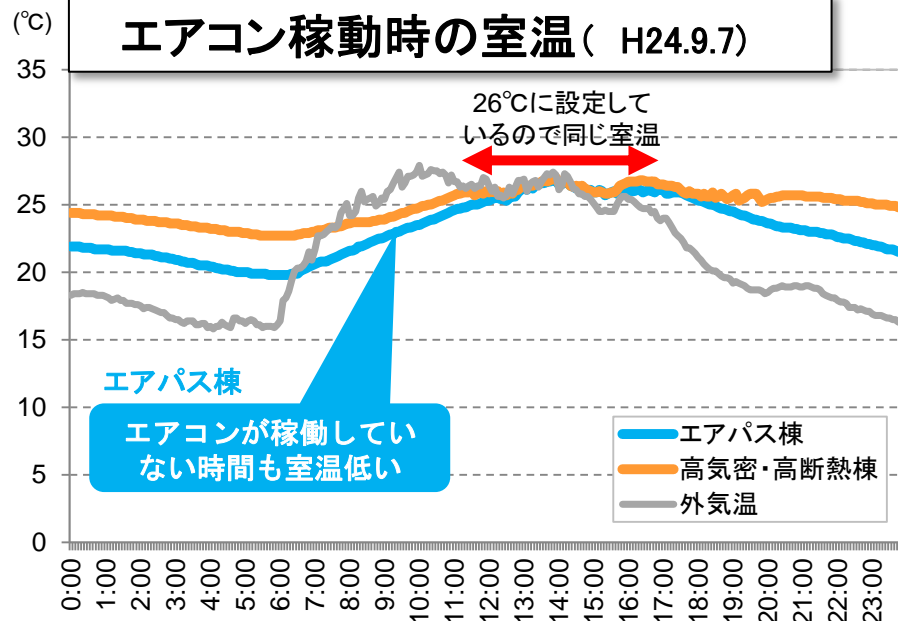
夏

消費電力 (H24.9.7)

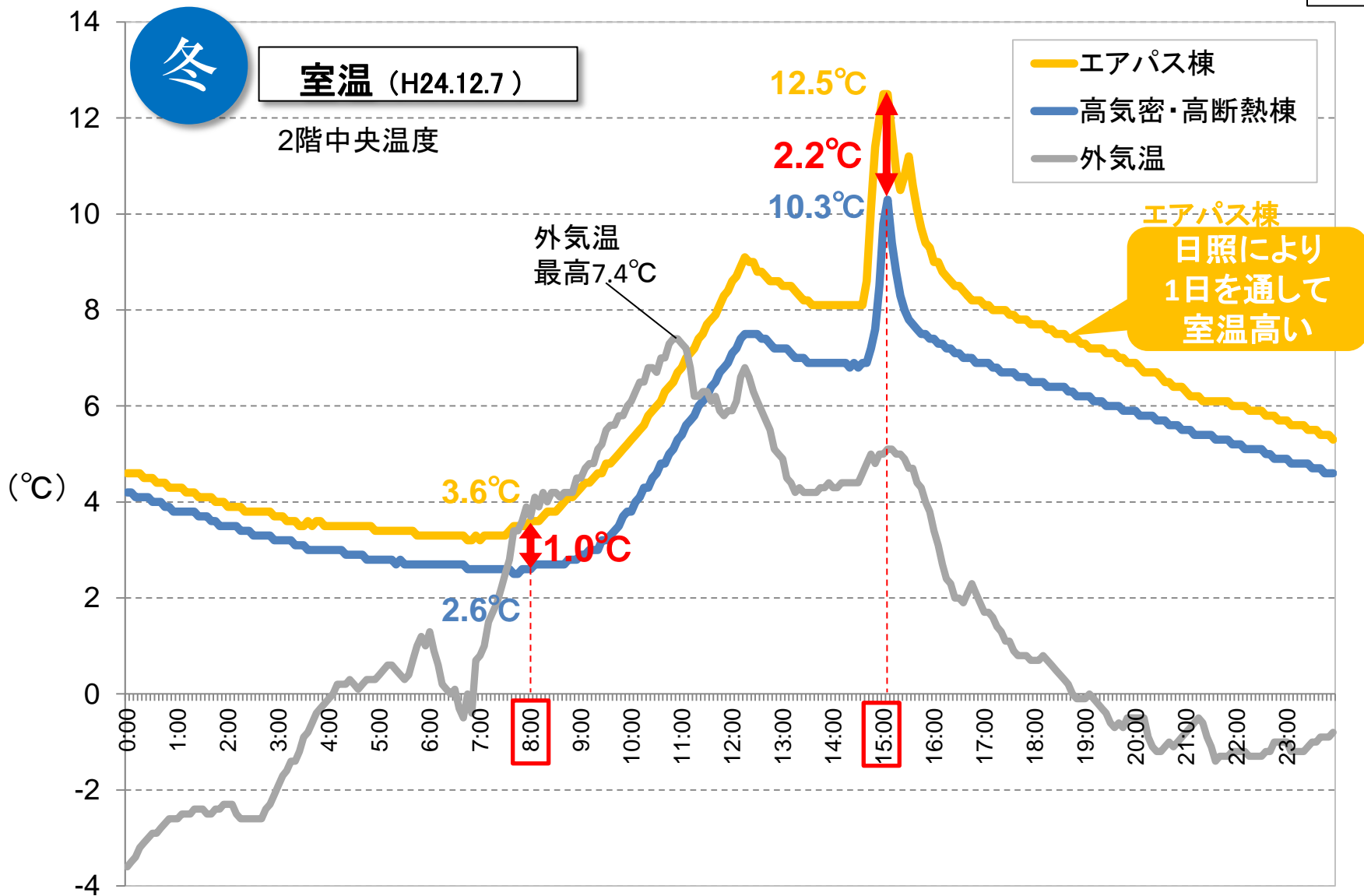
エアコンを24時間稼働
(1階に設置、26°C設定)



エアコン稼働時の室温 (H24.9.7)



- エアパス棟に比べて高断熱棟の方が早くから、遅くまでエアコンが稼働している。
- エアパス棟のエアコンの積算電力量は、高断熱棟の約1/2となっている。
- エアパス棟は、エアコンが稼働していない時間も、室温は低い。



- 日照により、エアパス棟は高断熱棟より1日を通して室温が高い。
- 外気温のピークより4～5時間遅れて室温のピークは現れるが、日照によりエアパスの効果は高くなる(エアパス棟と高断熱棟の室温差が大きくなる)。